

令和8年度  
事業計画書



社会福祉法人土佐厚生会

# — 目 次 —

土佐厚生会 .....	1
障害者支援施設こくふ .....	6
相談支援センターアルペジオ .....	8
就労継続支援B型事業所ウィール社 .....	9
就労継続支援B型ワークセンターファースト .....	11
障害者福祉ホームコーポラスこくふ .....	12
障害者支援施設ステージ桜が丘.....	13
特別養護老人ホーム八流荘 .....	14
小規模多機能型居宅介護事業所南風 .....	15
障害者支援施設とさ .....	16
就労継続支援B型事業所カトレア .....	17

# 社会福祉法人 土佐厚生会

理事長 藤田久雄

2026年2月9日、自民党は衆院選の総定数465議席の内316議席を確保するなど、定数の3分の2を上回り、単独政党として戦後最多の議席数を獲得した。第2次高市内閣の発足後は、2026年度予算案の5月の大型連休前までの成立を目指す。公約では、国民会議(政府・与野党・有識者・産業界等の参加による国の重要政策を議論する会議の枠組み)にて食料品に限り消費税率を2年間ゼロにすべく、超党派による議論の加速を方針として示している。消費減税分の財源確保(食品消費税は、2025年度予算ベースで約5兆円。この税収は、年金・医療・介護等、社会保障費として充てられ、その約4割は地方自治体に配分される。)、中所得者を支援する給付付き税額控除の制度設計、人口縮小社会・少子高齢化に伴う年金・医療・介護等の在り方など、重要政策が議論される。

さて、消費税は社会保障財源の基礎的財源であり当然のことながら超高齢社会の進展により増えていく。一般歳出における社会保障関連の歳出は、2026年度予算案で39兆円。現状でも10兆円の不足とされているなか、日本の社会保障が将来に向けて安定的かつ継続的な信頼性を維持することは、大変厳しいと考えている。代替財源なしで減税をし、国債発行(国が資金調達のために発行する債券で、元本割れのリスクが低く安全性が高いとされ、満期まで保有すると元本返還、利子も受け取れる。国は主に税財源をもとに償還する。)で賄い続けると、マーケットが警戒感を示し、投資家の株式売却による日経平均の下落(株安)、円売り加速による(円安)、債券売却による金利高騰(債券安)つまり、株高の高市トレードからトリプル安になると現在の積極財政に対する不安が一気に広がってしまうだろう。本年2月10日に財務省が発表した国の借金(国債と借入金の合計)は、2025年末時点で1,342兆1,720億円で、24年末より24兆5,355億円増加し、過去最大を更新している。

社会福祉の業界においては、建築工事費の高騰により福祉施設の平米単価の推移は10年間で1.6倍。社会福祉充実財産については、全国総数21,118法人の内、有しているのは、7.7%。ほとんどの法人が再生産費用を確保できていない可能性も報告されている。我々の業界は、公的価格という縛りから価格転嫁は一切できない。土佐厚生会は、本年度より法人本部の組織変更を実施すべく、本会が設置経営する各事業所の実態調査をすすめながら、2040年問題「団塊ジュニアが65歳以上になり、現役世代(15~64歳の生産年齢人口)は現在の8割に減少する8がけ社会が訪れ、高齢社会がさらに進む。(朝日新聞)」に向けて早急に対応しなければならない。高知県は、人口に対する転出超過率が全国で最も高く、日本人のみの転出超過は2001年から続く。スマートシュリンク(賢く縮む)の取り組みについては、常任理事会で議論を重ね、特に第1種社会福祉事業における定員規模の見直しをはかるなど、適正な経営計画の構築に向けて、高知県及び安芸市を中心とした行政機関、各関係団体とのなお一層の連携を構築しなければならない。

本年度も引き続き、食費・光熱水費・原材料コスト、設備投資、改築事業の資金調達など、財務体質に見合う収益を維持してゆくことが大前提となる。事業継続の安定をはかるためには、低収益・高コスト体質に陥ることを防ぐべく体質改善をはかりながら労働生産性を上げるなど、各事業所の地域性を考慮した具体策を講じることが肝要である。加えて本会のパーパス(存在意義)

を広く地域社会に向けて公開すべく、停滞のない活気ある事業所経営を本旨とする。

※ 本会の先人たちが日々積み重ねてきた会是「愛情・奉仕・連帯」という Sympathy & Empathy (寄り添いと他者意識)を次の世代へと着実に引き継ぎながら、効果的且つ効率的な職場風土を維持してゆかなければならない。

ここに本会施設長による「学びの実践」として **The 3 Promises** (3つの約束)を掲げる。

### **福祉サービスの質＝施設長の質**

#### **The 3 Promises : (3つの約束)**

##### **① スタッフの働きがいを高めるべく、常に組織環境の改善をはかる。**

「法人の理念、施設の情報末端まで適切に伝わっているか。経営理念について施設長自らが解りやすく現場に説明出来ているか。トップの考えを現場まで浸透させて、組織改善を行いながら生産性向上(ヒト・モノ・カネ・情報など費やした資源に対する成果を上げるべく、目標に優先順位を付け、情報整理と時間管理を行う)に導くことを旨とする。」

##### **② 利用者様の安全・安心とご家族からの信頼を守るべく、継続的なリスクマネジメントの強化をはかる。**

「施設長は、実際の現場で何が行われているか把握出来ているか。ステークホルダーからの苦情があるのに聞けていないところはないか。利用者様の安全と健康を優先しながらも、豊か(多様な価値観にできる限り寄り添ったサポート)で安心できる暮らしの提供を旨とする。」

##### **③ 施設長自身の魂を磨くべく、「学びの継続」を実践し、福祉施設士としての人間力を培う。**

「スタッフ間のベクトル(方向性)を合わせプロの対人援助職として調和を図ることで、支援に対する功績と責任はチーム全体で分かちあえるという喜びがある。福祉の職場は人として成長させてもらえるやりがいのある仕事。福祉施設士たる施設長の使命として、習得した能力を駆使し、事業計画を通して具体的に法人の理念を実現させる。福祉職場の働きがいを施設長自らが常に発信し続けることを旨とする。」

## **1 基本方針**

### **(1) 経営理念の再認識と浸透活動**

土佐厚生会の会是である「愛情」「奉仕」「連帯」の精神を遵守し、人権の尊重とプライバシーの保護に努めるとともに、福祉サービスを必要とする利用者様が、地域社会の一員として、社会・経済・文化活動等に参加をし、有する能力に応じた日常生活を営むための適切な支援を行い、安全で安心できる良質なサービスを継続的かつ安定的に提供できるよう、活気のある経営を進める。

## (2) 労働環境の適正化と組織の安定化 ～ 効果的な広報戦略

社会福祉法人制度については、税制上の優遇措置にふさわしい地域貢献や運営の透明化等についての具体策が義務付けられていることから、社会福祉法人を巡る昨今の情勢を理解し、公益性に相応しい体制の整備、健全な組織運営を維持するためのガバナンス強化、透明性を高めた積極的な情報公開を進めるなど、効果的かつ公益的な組織運営を展開する。

## (3) 良好なコミュニケーションづくりとリーダー人材のレベルアップ

社会福祉法人が広く国民からの信頼を得るためには、関係諸機関及び地域住民との更なる連携を図り、施設の専門的知識や機能を可能なかぎり社会に還元する必要がある。制度の谷間で顕在化された地域の課題に挑戦し、サービスと組織全体の改善を行うなど、常に改善に取り組む組織文化の構築を進めながら、地域関係者との信頼の積み上げを図る。

## (4) 適切な研修体系 ～ スタッフの能力発揮と成長機会の提供

社会福祉施設は、利用者様の立場に立った良質かつ適切な福祉サービスを提供するため、常にサービス内容の見直しを図り、不適切な支援の防止に努めなくてはならない。利用者様の安全と労働災害の防止、労働生産性の向上（※ 提供するサービス内容の簡素化や質の低下を除く）など、役職員の活動方向と判断基準の一体化を進める。キャリアプランの明確化を図り、関係者一人ひとりが共有された組織の中で、発想の転換と創意工夫を重ね、英知を結集できる組織づくりを推進し、働きがいのもてるより良い職場風土の醸成を図る。

## 2 目標

- (1) 本会創設者の歩んできた道に思いを寄せ、経営理念である「愛情」「奉仕」「連帯」をすべてのスタッフが共有し、その実現に向けた活動を展開していくことを目標とする。
- (2) 社会福祉法第24条が求める「経営の原則」の実現は、各施設の具体的な経営管理によって達成されることから、福祉施設長はそれぞれの取り組みに対して主体的な役割を真摯に果たすことを旨とする。

## 3 事業計画及び具体的な取組み

### (1) 組織機能の強化

#### ア 指導監督の推進

- (ア) 会是に沿った支援ができるよう経営理念の徹底
- (イ) 法人の中長期計画書及び短期計画書の精査
- (ウ) 各施設の事業の進捗状況等の報告を受け、その状況を把握し指導、監督

#### イ 効果的な情報発信

- (ア) 法人並びに施設の取り組み等の情報を効果的に発信

ウ 非常時の事業継続対策強化

- (ア) 事業継続計画を周知し、災害や感染症発生時においても利用者様に継続的にサービスを実施できる体制の確立

(2) 利用者サービスの向上

ア スタッフ育成の強化

- (ア) 研修受講後の現場実践と振り返り及びその取り組みのフォロー体制の構築

イ 良質のサービスの推進

- (ア) 事故防止に対する意識の徹底と事故防止委員会の指導強化

- (イ) 虐待防止委員会の活性化の継続、スタッフの虐待に対する認識の徹底と虐待予防

(3) スタッフの確保

ア 人材マネジメントシステムの構築

- (ア) 人材確保に向けた採用体制の確立と法人の魅力発信の強化

- (イ) 外国人材を受入れ日本での生活、仕事に慣れてもらう取り組み

イ 職員満足度の向上・帰属意識の醸成

- (ア) 意識調査結果への対応

(4) 経営基盤の強化

ア 施設・事業所の経営改善

- (ア) 法人全体・施設・事業所の財務管理

イ 施設整備事業の実施

- (ア) 老朽化した八流荘の建て替え

## 4 令和8年度 土佐厚生会研修計画

(1) 令和8年度 法人研修の取り組み

ア 階層別研修

職務の専門性を高めることと同時に、チームや組織で働くための組織性を高めることも重要である。階層別研修では特に組織性を高め、チーム内や部署間の連携を促進する。

イ 法人内研修

本会のキャリアパスに基づき、スタッフ一人ひとりの使命感の醸成を図るとともに、リーダーシップがとれる人財を育成する。

(2) 令和8年度の法人研修項目

ア 新規採用職員研修

研修名	主な対象	時期 (予定)
法人基礎研修	新規学卒者	4月1日
高知県福祉・介護職員合同入職式及び新任職員研修	新規学卒者	4月

イ 階層別研修

(7) 階層別研修 ①組織性 [主催：高知県福祉人材センター]

研修名	主な対象	時期（予定）
初任者研修	1年未満の職員	7月～9月
新任職員ステップアップ研修	1年未満の職員	3月
先輩職員研修	2年以上3年未満の職員	7月
中堅職員研修	2～3等級の職員	7月～9月
中堅職員ステップアップ研修	5年以上の職員	10月
チームリーダー研修	4等級以上の職員	9月
メンバーシップリーダー研修	4等級以上の職員	11月
スーパービジョン研修	4等級以上の職員	2月
管理職員研修	6等級以上の職員	12月

(4) 階層別研修 ②専門性 [主催：高知県福祉人材センター]

研修名	主な対象	時期（予定）
ケアテーマ別研修	1～4等級	5月～3月
メンバーシップリーダー研修	現場リーダー	11月～
ソーシャルワーク基礎研修	相談援助職	6月又は10月
ソーシャルワーク応用研修	相談援助職	2月～3月
アサーティブコミュニケーション研修	3年以上	9月

ウ 法人内研修

研修概要	時期（予定）
被人事考課者研修	5月、6月
人事考課者研修	9月、3月の年2回
リーダー研修	11月

# 令和8年度 障害者支援施設こくふ 事業計画

## 1 基本方針

関係法令を遵守し、本会の会是である「愛情」「奉仕」「連帯」に基づき、地域への貢献を念頭において事業計画の達成を目指します。また、利用者の人権の尊重、自己決定、自己選択及び自立に向けた支援に努め、利用者が安心・安全な生活と社会参加ができるよう支援を行います。

なお、令和7年度にサービスの質と安全性を確保する観点から、定員を80名から70名へ適正化しており、令和8年度も引き続き適正な規模での運営を行います。

## 2 目標

サービスが公定価格であるため大幅な収入増が見込めない一方、物価高騰や施設・設備の経年劣化に伴う大規模改修など支出の増大が続いています。こうした状況下でも、利用者・スタッフ・経営の三者がバランスよく満足できる体制を整えることで、『持続可能なサービス提供体制の確立』を図ります。

## 3 事業計画及び具体的な取り組み

### (1) サービス提供体制の整備

記録業務、申し送り、シフト作成、物品管理など、既にICT化している業務にAIを導入し、さらなる効率化を進めます。これにより事務負担を軽減し、スタッフが利用者支援に充てられる時間を確保できる体制を整えます。また、こうしたサービス提供体制を維持するため、経常増減収支差額の確保に努めます。

ア AIを活用した業務効率化の強化

イ 経常増減収支差額の確保

(ア) 稼働率の安定化

(イ) 安定的な加算取得

### (2) 計画的な設備改修

計画的な設備改修を実施し、利用者にとって快適な生活空間を、スタッフにとって働きやすい環境を整えます。

ア 空調改修

(ア) 空調のオール電化

(イ) 空調電化に伴う電気設備増設

イ 照明のLED化

(3) スタッフの確保

安定したサービス提供体制を維持するため、受け入れている特定技能人材の育成を進めるとともに、長期的な視点で専門性と意欲を備えた人材の確保を図ります。そのため、地域の人材育成機関との連携を強化し、多様な人材が活躍できる体制を整えます。

ア 外国人材の育成

イ 将来を担う人材の獲得

# 令和8年度 相談支援センターアルペジオ 事業計画

## 1 基本方針

本会の会是である「愛情」「奉仕」「連帯」の精神を基盤とし、相談支援専門員としての自覚を持ちながら、利用者様の意思及び人格を尊重し、常に利用者様の立場に立った適切な支援の提供に努めます。

## 2 目標

『高品質なサービスの提供』を重点目標とし、利用者様やご家族との信頼関係の構築に努めます。また、行政・医療機関・関係施設等との連携を強化し、研修への積極的な参加等を通じてスタッフの資質向上を図りながら、相談支援サービスを行います。

さらに、健全な事業所経営のため、AI等のデジタル技術を活用した事務業務の効率化を進め、人的負担の軽減と運営の最適化を図ります。

## 3 事業計画及び具体的な取り組み

### (1) 資質向上

#### ア 社会資源の把握

- (ア) 南国市相談支援専門員連絡協議会に参加して情報収集
- (イ) 各市町村への書類提出時に、地域の状況について情報収集
- (ウ) 研修参加時に他受講者から情報収集

#### イ 関係機関と連携

- (ア) 利用者様の支援市町村の担当者との連携
- (イ) 利用者様の主治医や医療ソーシャルワーカーとの連携
- (ウ) 利用者様の利用事業所のサービス管理責任者と連携

#### ウ 利用者様の状況把握

- (ア) アセスメント時や必要時に利用者様のお話を傾聴
- (イ) アセスメント時や必要時に利用者様ご家族のお話を傾聴
- (ウ) 必要に応じて、利用者様の主治医や医療ソーシャルワーカー等から状況を伺う
- (エ) 必要に応じて、利用者様の利用事業所のスタッフから状況を伺う

### (2) 経費削減

#### ア AI等のデジタル技術を活用

- (ア) AIによって効率化できる業務を検討
- (イ) システム設計
- (ウ) システム作成
- (エ) システム試運転
- (オ) 試運転による不具合を解消
- (カ) システム本稼働

# 令和8年度 就労継続支援B型事業所ウィール社 事業計画

## 1 基本方針

本会の会是『愛情、奉仕、連帯』を遵守し、利用者様が地域において安心安全に生活できる環境を確保し、法人就労3事業所の統一スローガン『個性を磨き上げ、利用者様と共に成長する組織づくり』を実践いたします。

## 2 目標

令和7年度より『10年後を見据えた施設づくり』を目標に掲げ、3年計画の2年目として施設づくり、組織整備を行っていきます。スタッフ一人一人が自立し、利用者支援、施設運営に携わり、安定した基盤づくりを行います。そして利用者満足度、職員満足度ともに向上できる施設運営に努めます。

## 3 事業計画及び具体的な取り組み

- (1) 支援体制と日常生活の充実に努め、利用者満足度・職員満足度の向上を図ります。
  - ア スタッフの資質の向上及び作業環境を整備し、利用者満足度の向上を図ります。
    - (ア) 全スタッフの外部研修及び事例検討会等の積極的受講を促し、実践力を養います。  
【目標：全スタッフ受講率 100%】
    - (イ) 全スタッフにて福祉QC活動を行い、課題解決・業務改善に努めます。
    - (ウ) 利用者様のニーズや状況に応じた作業の提供のほか、資格取得や自助具等のサポート、またリフレッシュできるよう定期的にレクリエーション等の時間を提供いたします。
  - イ 日常生活の支援を行います。
    - (ア) 単身生活者に向けた環境整備や手続き対応、相談支援等を行います。
    - (イ) 高齢利用者様の増加に伴い、介護保険等への移行や情報提供等の支援を行います。
  - ウ 上記項目は、利用者満足度調査を9、3月に実施します。【目標：満足度 80%】
- (2) 安定した施設運営ができるよう、利用者様の確保、就労事業収益のアップを図ります。
  - ア 利用契約者24名、稼働率105%を確保し、施設会計の黒字化に努めます。
    - (ア) 各関係機関と連携し新規利用者の確保、特別支援学校の実習生の受入れを行います。
    - (イ) 通所の安定しない利用者様等に通所の促しを行い、利用時間の確保に努めます。
  - イ 就労事業収益を5%アップし、利用者工賃向上を図ります。
    - (ア) 毎月の売上管理を徹底し、目標達成を目指します。【年間売上目標：¥25,600,000】
      - ・印刷部門売上【目標：¥1,400,000/月】
      - ・精米部門売上【目標：¥530,000/月】
      - ・軽作業部門売上【目標：¥200,000/月】
      - ・UV印刷売上【目標：¥100,000/月】
    - (イ) スタッフの兼業化を進め、全スタッフが複数部署の対応ができるよう努めます。
    - (ウ) 原材料や外注費の経費削減に努めます。【目標：対前年度比-5%】
  - ウ ネットショップの全国展開の構築に努めます。

- (ア) インスタグラムの定期更新できる仕組みづくりを進め、フォロワー獲得に努めます。
- (イ) ネットショップの売上向上を図れるよう、周知方法の確立、商品開発、他事業所等との連携を図ります。

# 令和8年度 就労継続支援B型ワークセンターファースト 事業計画

## 1 基本方針

本会の会是『愛情、奉仕、連帯』を遵守し、利用者様が嶺北地域において安心安全して生活できる環境を確保し、法人就労3事業所の統一スローガン『個性を磨き上げ、利用者様と共に成長する組織づくり』を実践いたします。

## 2 目標

令和7年度より『10年後を見据えた施設づくり』を目標に掲げ、3年計画の2年目として施設づくり、組織整備を行っていきます。スタッフ一人一人が自立し、利用者支援、施設運営に携わり、安定した基盤づくりを行います。そして利用者満足度、職員満足度ともに向上できる施設運営に努めます。

## 3 事業計画及び具体的な取り組み

- (1) 支援体制と日常生活の充実に努め、利用者満足度・職員満足度の向上を図ります。
  - ア スタッフの資質の向上及び作業環境を整備し、利用者満足度の向上を図ります。
    - (ア) 全スタッフの外部研修及び事例検討会等の積極的受講を促し、実践力を養います。  
【目標：全スタッフ受講率 100%】
    - (イ) 全スタッフにて福祉QC活動を行い、課題解決・業務改善に努めます。
    - (ウ) 利用者様のニーズや適性に応じた作業提供のほか、新規作業の獲得をすすめ、またリフレッシュできるようレク等の時間を提供いたします。
  - イ 通所時だけでなく、日常生活にも支援を行います。
    - (ア) 単身生活者に向けた環境整備や手続き対応、地域特性に応じた支援を実践します。
    - (イ) 嶺北地域内外のイベント情報や行事への参加等を積極的に行います。
  - ウ 上記項目は、利用者満足度調査を9、3月に実施します。【目標：満足度 80%】
- (2) 安定した施設運営ができるよう、利用者様の確保、就労事業収入のアップを図ります。
  - ア 利用契約者12名、稼働率105%を確保し、施設会計の黒字化に努めます。
    - (ア) 各関係機関と連携し新規利用者の確保、特別支援学校の実習生の受入れを行います。
    - (イ) 通所の安定しない利用者様等に通所の促しを行い、利用時間の確保に努めます。
  - イ 就労事業収入を5%アップし、利用者工賃向上を図ります。
    - (ア) 毎月の売上管理を徹底し、目標達成を目指します。【年間売上目標：¥3,000,000】
      - ・毎月の売上の売上管理を徹底し、¥250,000以上の売上を達成します。
      - ・イベント等へ積極的に参加し、オリジナル商品の販売に努めます。
    - (イ) 地元企業との連携を図り、新規作業・商品の獲得に努めます。
    - (ウ) 目標工賃¥20,000を達成できるよう収益確保に努めます。

# 令和8年度 障害者福祉ホームコーポラスこくふ 事業計画

## 1 基本方針

本会の会是『愛情、奉仕、連帯』を遵守し、利用者様が地域において安心安全に生活できる環境の整備と経営の安定化を図ります。法人就労事業所の統一スローガン『個性を磨き上げ、利用者様と共に成長する組織づくり』を実践いたします。

## 2 目標

令和7年度より『10年後を見据えた施設づくり』を目標とし、3年計画の2年目として運営していきます。利用者満足度、職員満足度の向上を図り、利用者様が住まわれている地域で自分らしく生活できるよう支援いたします。

## 3 事業計画及び具体的な取り組み

- (1) ニーズや思いに寄り添った支援を実施いたします。
  - ア 住みやすい環境の整備に努めます。
    - (ア) ニーズに沿った環境整備と修繕対応を速やかに行います。
    - (イ) ウィール社と連携し、懇談会の開催や個別対応等困りごとや悩みに対応いたします。
    - (ウ) 南海トラフ地震に備え、訓練の実施、居室環境の確認を行います。
  - イ 日中の活動の充実を図ります。
    - (ア) 毎週の買物支援を実施し、ゆとりある生活を送れるよう支援いたします。
    - (イ) イベント情報の提供等を行い、休日の過ごし方を支援いたします。
    - (ウ) クラブ活動や趣味活動の充実を図り、思いに寄り添った支援を行います。
  - ウ 年2回の利用者満足度調査を行い、ニーズや思いに寄り添った支援を実施いたします。
- (2) 経営の安定化を図り、安定した施設運営を目指します。
  - ア 満床で運営できるよう、利用者様の確保に努めます。
    - (ア) 3か月に1度、空室情報を各関係機関に提供し、稼働率95%の確保に努めます。
    - (イ) 待機者リストの整備及び情報提供先の見直しを行い、効果的に利用者様の確保ができるように努めます。
    - (ウ) 介護保険への移行を推進し、将来を見据えた対応を検討していきます。
  - イ 無駄をなくし、経費の削減に努めます。
    - (ア) 節電、節水に努め、対前年度比-5%を目指します。
    - (イ) 施設内外の不用品等の整理を行います。

# 令和8年度 障害者支援施設ステージ桜が丘 事業計画

## 1 基本方針

法人の理念である「愛情」・「奉仕」・「連帯」の精神に基づき、支援力の向上を目指し利用者様が笑顔で安心、安全に過ごしていただけるよう努めます。

## 2 目標

令和8年度は、これまで取り組んできたことのさらなる進化と定着を目指し、利用者様の人権や意志の尊重、可能な限り自己決定、自己選択のもとで、利用者様が主体的に活動できるよう支援に努めます。

また、施設運営の安定を目指し、人材確保と稼働率の向上の取り組みを強化するとともに、適正価格の把握など支出管理、経費削減に努めます。

## 3 事業計画及び具体的な取り組み

### (1) サービスの向上

利用者様は「お客さま」の気持ちをもって、施設全体の支援力の向上、利用者様満足の上向上に努め、サービス提供を行います。

また、地域イベントや就職面談会への積極的な参加など、地域貢献活動やPR活動の充実に努めます。

- ア 満足度の向上
- イ 日中活動の充実
- ウ 委員会活動の強化
- エ 障害特性についての学習

### (2) 経営の安定

新規入所者の確保及び年間平均稼働率 94%以上確保を目標として、職員の確保及び利用者様確保に努めるとともに、物価高騰対策として、これまで以上に納品価格の変動や支出管理を中心に収支状況を注視し経費削減に努めます。

- ア 稼働率向上
- イ 人材確保・育成

# 令和8年度 特別養護老人ホーム八流荘 事業計画

## 1 基本方針

地域における介護福祉施設として、入所者一人ひとりの生活の継続性と安定を重視した施設運営を行います。本年度は入所前から入所後までの一連の業務の流れを点検・整理し、申込受入、入所後対応が円滑につながる体制の構築に取り組みます。これらの取組を通じて施設稼働率の安定的な確保を図り、持続的な施設運営につなげていきます。

## 2 目標

入所調整に結び付く申込者数の確保及び申込後の状況変化の把握を行い、生活機能等を踏まえた受入判断により入所後の生活継続と施設運営の安定を図ります。併せて、平均水分摂取量1200ml以上の確保及び食事時の椅子使用率25%を目標として取り組みます。

## 3 事業計画及び具体的な取り組み

### (1) 入所調整に活かせる申込の確保

- ア 既存紹介元との連携を継続し、早期相談を周知する。
- イ 入所実績のある関係機関と受入体制を共有する。
- ウ 申込時に医療・生活・家族状況を丁寧に確認する。
- エ 申込後も定期連絡を行い、状況変化等を把握する。

### (2) 生活継続を踏まえた受入判断

- ア 医療・生活機能を多職種で共有し受入判断を行う。
- イ 入所初期の生活変化を把握し支援を調整する。
- ウ 入所後一定期間の生活状況を振り返る。

### (3) 水分摂取量の増加

- ア 入所者ごとに目標水分量を設定し記録・共有する。
- イ 食事以外の場面でも水分摂取機会を確保する。
- ウ 嗜好に配慮した飲料選択で摂取を促進する。

### (4) 食事時の椅子利用率向上

- ア 椅子移行対象者を選定し段階的に移行する。
- イ 椅子移行が円滑に行える環境を整備する。
- ウ 椅子使用状況を定期確認し改善につなげる。

# 令和8年度 小規模多機能型居宅介護事業所 南風 事業計画

## 1 基本方針

会是である「愛情」「奉仕」「連帯」を基本理念とし、福祉サービスを利用される高齢者に対して、個人の尊厳や希望、置かれている環境、年齢及び心身の状況等に応じた多様な福祉サービスを提供することにより、住み慣れた地域で自立した日常生活をすると共に社会、経済、文化、その他あらゆる分野で活動等に参加できるよう支援を行います。

## 2 目標

「地域に必要とされる事業所」をスローガンとし、ステージ桜が丘との交流や地域活動に参加、社会福祉協議会や保健・医療・福祉の連絡会に参加するなど交流を広める事で、関係機関との連携を行い役割や存在を周知してもらえよう事業所となれるよう努めます。また、職員の支援力向上や業務改善の推進を図り職場環境の見直しに努めていきます。

## 3 事業計画及び具体的な取り組み

### (1) 経営の安定化

#### ア 地域交流の推進

- (ア) 地域の公民館活動・子供食堂や、サロン、高校生との行事への協力など、事業所が地域社会の一員として、地域参加をする。また、利用者様と関わりのある地域住民等の相談に対応する。
- (イ) 市民館等の地域会へ出席し、地域の課題を把握し、出来る限り課題への対応をする。
- (ウ) 社会福祉協議会や地域の保健・医療・福祉の連絡会への参加など、関係機関との連携を行う。
- (エ) 事業所内での行事招待など、地域との相互交流を図る。

### (2) サービスの質の向上

#### ア 支援力の向上

- (ア) 認知症ケアの向上
- (イ) 人権擁護（高齢者虐待防止等）について外部・定期研修を実施する。それに伴い、不適切ケアについてアンケート実施し点検作業を行い、対応方法を検討する。
- (ウ) 地域住民や他事業所等と共同で事例検討会を実施する。
- (エ) リスクマネジメントについて勉強会や内部研修等を実施する。

### (3) 課題解決への取組

#### ア 業務改善の推進

- (ア) 職場環境の見直しを実施し、ノーリフティングケアの推進を行う。
- (イ) 定期的な職場環境の見直しを行い、業務効率化の推進を図る。

# 令和8年度 障害者支援施設とさ 事業計画

## 1 基本方針

関係法令を遵守し、本会の会是である「愛情」「奉仕」「連帯」に基づき、事業計画の達成を目指します。

また、利用者様の人権の尊重、自己決定、自己選択及び自立に向けた支援に努め、利用者様が安心安全な生活と社会参加ができる支援を目指します。

## 2 目標

スローガンは「利用者様を大事にする想い」とし、利用者様の人権を尊重した支援力向上に努め、サービスの質の向上を目指します。また、経営の安定化を図り、稼働率上昇に伴う人員不足を解消し、スタッフが働きやすい施設運営に努めます。

## 3 事業計画及び具体的な取り組み

### (1) サービスの質の向上

全部署が事例発表に取り組むことを継続し、スタッフの支援力向上に努めます。福祉QC活動を推進していき、スタッフ間のコミュニケーション活性化と異なる立場の視点で課題に挑み、福祉QC手法を活用した課題解決・業務改善方法の定着に取り組めます。

ア 支援力向上

イ 福祉QC活動の推進

### (2) 経営の安定化

入所利用者様の待機者を確保し、スピーディーな入所調整ができるよう努めるとともに、安定した生活介護稼働率を図るためにも計画的に生活介護利用定員の検討をします。

ア 施設入所稼働率98%を維持するために、入所利用者様51名契約の継続

イ 生活介護利用定員の検討

### (3) スタッフの確保

法人他施設による令和6年度以降の外国人雇用6名に加え、新たにとさで2名雇用し、日本での生活と職場に慣れてもらえるよう取組み、スタッフの業務負担軽減を目指します。

ア 外国人材の受入れ

# 令和8年度 就労継続支援B型事業所カトレア 事業計画

## 1 基本方針

本会の会是である「愛情」「奉仕」「連帯」を誠実に実践し、利用者様に対して自立した日常生活や社会生活ができるよう支援するとともに、利用者様の知識、能力に応じた就労や生産活動の場を提供し、自立生活と社会参加ができる訓練等を適切かつ効果的に実施することを基本方針とします。

## 2 目標

「個性を磨き上げ、利用者様と共に成長する組織づくり」をスローガンとし、利用者様の生活面・就労面の自立に向けた支援を行います。

事業計画を具体的に実施できるよう職員間で共有を図り、全スタッフが一丸となり取組み、成果を出していきます。また、スタッフ一人一人が自立し、利用者様支援、施設運営に携わり、誰もが働きやすい事業所運営を行います。

## 3 事業計画及び具体的な取り組み

### (1) サービスの質の向上

余暇活動の充実を図り利用者様同士の関りを深めます。また、全職種で事例発表に取組み、スタッフの支援力向上に努めます。福祉QC活動を推進していき、福祉QC手法を活用した課題解決と業務改善方法の定着に取組みます。

- ア 余暇活動の充実
- イ 支援力の向上

### (2) 経営の安定化

安定的な事業運営を確立していくために、積立金計上額の向上を図ります。また、就労会計の黒字を継続し、利用者様の平均工賃の向上に努めます。

- ア 利用契約者24名を目標とし、稼働率96%を目指します。
- イ 就労会計の黒字を継続し、利用者様の平均工賃の向上に努めます。
  - (ア) 就労事業売上目標を¥25,725,000とし、各部門で目標達成を目指します。

